

令和2年度用「小学算数」4年 年間指導計画作成資料（案）

令和2年6月版

取り扱いに当たっての留意事項

- 「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」では、学習内容や時数について考えられる案を示しています。学校や地域の実態に応じてご参照ください。
- 表中の「学校の授業以外の場において行うことが考えられる教材・学習活動」とは、「学校の授業以外の場で学習したことを基に、授業で各活動が展開されること」を前提としています。学校以外の場のみで学習が完結するということではありませんので、授業における配慮をお願いします。
- ウェブを活用した場面があります。音声や動画を視聴できる環境にない家庭の児童への配慮をお願いします。
- 単元ごとの配当時数、主な学習活動などは、今後変更になる可能性があります。予めご了承ください。
- 各単元の評価規準については、小社ウェブサイトの「年間指導計画・評価計画（案）」をご参照ください。

教育出版

【本資料の見方】

◆配当時間数

黒字は、平時の授業時間数を示しています。
赤字は、学校での授業と、学校の授業以外の場において取り組む学習活動（〔以外〕）を併用して指導する場合を示しています。

3 折れ線グラフ		5月中旬～下旬（9時間⇒8時間+〔以外〕） p.44～57			
◆単元の目標と評価規準					
○折れ線グラフについて理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(イ)、D(1)イ(ア)】					
・折れ線グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>					
・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。<思・判・表>					
・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>					
◆指導計画と観点別評価規準					
時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
7	4 4 5 5 4	(折れ線グラフのかき方)	①②折れ線グラフのよみ方を理解する。	・「気温の様子を表そう！」の活動をきっかけに、1日の気温の変化の様子をわかりやすく表すことに興味をもつ。 ・変化の様子を表すグラフとして、折れ線グラフのよみ方を知る。 ・折れ線グラフの傾きと変化の大きさについてまとめる。	・予習で、p.44の「気温の様子を表そう！」、及びp.45の双葉の問題に取り組み、「気温調べ」の表を作成する。 ・授業では、予習をもとに「はてな？」のフキダシ、及び葉1から取り組み、p.48までの第1・2時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、〔以外〕の学習活動としてp.48の□1、□2に取り組む。
			③④折れ線グラフのかき方を理解する。 2つの折れ線グラフを同じグラフ用紙に表して、変化の様子を比べることができる。★	・1日の気温の変化を表すことをおしえて、折れ線グラフのかき方を知る。 ・5月15日と16日の気温の変化の折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察する。	
			⑤折れ線グラフの途中の目盛りを波線で省略する場合を理解する。★	・ハムスターの体重調べをとおして、折れ線グラフでは途中の目盛りを波線で省略して変化の様子を見やすくする場合があることを知る。	
			⑥適切な目盛りの付け方や省略のしかたを考え、折れ線グラフについて理解を深める。★	・体温の変化を表すのに適した目盛りの付け方や省略のしかたを考える。	
			⑦折れ線グラフからよみ取れる変化の様子を、日常の事象と関連づけて捉えることができる。	・やかんで水を温めたときの温度の変化にあつた折れ線グラフを判断する。 ・ヘチマの草丈の折れ線グラフを見て、よみ取れることとよみ取れないことを判断する。	
			⑧棒グラフと折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察することができる。★	・「グラフを組み合わせて調べよう！」という目的意識から、気温と降水量の変化のグラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察する。	
			⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・〔以外〕の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
1	5 5	学んだことを使おう			
1 (0)	5 6 7	まとめ	⑩折れ線グラフで折れ線グラフをつくらう！(p.158)★	・選択的活動として、コンピュータを使って表を折れ線グラフに表したり、グラフをよみ取りやすく作り直したりする。	・〔以外〕の学習活動として選択的に取り組む。
★まなびリンク シミュレーション「折れ線グラフツール」					
★まなびリンク 資料「各地の過去の気象データ(気象庁)」					
★まなびリンク ワークシート「広がる算数:コンピュータで折れ線グラフをつくらう！」					

◆〔以外〕の学習活動例や指導上の留意事項
〔以外〕における予習・復習の例や、それらを踏まえて授業時間数を更に削減する場合の例を示しています。学校や地域の実態に応じて、適宜ご参照ください。

◆赤い網掛け部分

〔以外〕で取り組むこととする学習活動は、赤い網掛けで示しています。

* は「発展的な学習内容」を含む箇所

★は教育出版のWebサイトに「まなびリンク(デジタルコンテンツ)」がある箇所

<上巻>

● 算数をはじめよう！／ペントミノ

4月上旬（2時間）
p.2～9

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	2 5 9	算数をはじめよう！／算数で使いたい考え方	①②算数の学習の進め方を理解し、問題解決に生かすことができる。	・「算数をはじめよう！」及び「算数で使いたい考え方」を見て、算数の学習の進め方について話し合う。	・予習で、教科書を読み、「学びを深める大切な言葉」、「学習の進め方」、及び「算数で使いたい考え方」を確認する。
		ペントミノ		・同じ大きさの正方形を5枚つなげた形(ペントミノ)を、筋道を立てている見つける。また、ペントミノのうち、ふたのない箱になる形を見つける。	・予習で、p.7の「問題をつかむ」、及び「自分の考えをもつ」段階まで取り組む。 ・授業では、「みんなで話し合う」、及び「ふり返る」段階に重点をおく。 ・「広げて考える」段階は[以外]の学習活動として取り組み、第1・2時を1時間で指導することが考えられる。

1 大きな数

4月上旬～中旬（8時間⇒7時間+[以外]）
p.10～22

◆単元の目標と評価規準

○億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、大きな数の大きさの比べ方や表し方、計算のしかたを統合的に捉える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(1)ア(ア)、A(1)イ(ア)、A(3)】

- ・億、兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、表すことができる。<知・技>
- ・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉えるとともに、それらを日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・整数の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	1 0 5 7	億と兆	①千億の位までの数のよみ方、表し方、億の位の数の構成と位取りのしくみを理解する。	・「いろいろな国の人口をよんでみよう！」の活動をきっかけに、既習の範囲を超える数に関心をもつ。 ・日本の人口のよみ方を調べることとおして、一億の位までの数のよみ方、表し方を知る。 ・世界の人口のよみ方を調べることとおして、千億の位までの数のよみ方、表し方、数の構成を知る。	
			②千兆の位までの数のよみ方、表し方、兆の位の数の構成と位取りのしくみを理解する。	・光が1年間に進む距離を調べることとおして、千兆の位までの数のよみ方、表し方、数の構成を知る。 ・整数は、右から4桁ごとに区切るとよみやすくなることを知る。	
			③数直線をもとに、大きな数の構成、相対的な大きさを理解する。 何億どうしの加減計算ができる。また「和」「差」の意味を理解する。	・数直線を見て、34億の数の構成、1億をもとにした相対的な大きさなどを考える。 ・35億+24億、35億-24億のような大きい数の計算のしかたを考える。 ・「和」「差」の意味を知る。	
		(整数のしくみ)	④10倍、100倍、1/10にした数の大きさと表し方を理解する。	・1億2345万を10倍、100倍、1/10にした大きさを調べることとおして、数を10倍すると位が1桁上がり、1/10にすると位が1桁下がることを知る。 ・どんな整数も、0から9までの10個の数字で表せることを知る。	
		[数の区切り]	・数を3桁ごとにカンマで区切って表すことがあることを知る。		

2	1 8 5 1 9	大きな数のかけ算	⑤3位数×3位数の乗法の計算ができる。また、「積」の意味を理解する。	・285×127のような、3位数×3位数の乗法の計算のしかたを考える。 ・「積」の意味を知る。 ・542×307のような、十の位に空位のある乗法の計算のしかたを考える。	
			⑥末位に0がある乗法の計算のしかたを理解する。	・2700×30や24億×20のような、末位に0がある場合の乗法の計算のしかたを、数の相対的な大きさをもとに工夫して考える。	
			[算数メモ]*	・簡単な整数の四則計算の式について、その英語での言い方を知る。	
1	2 0	学んだことを使おう	⑦大きな数についての量感を持ち、整数のしくみについて理解を深める。	・「10年は何秒かな？」という目的意識から、10年を秒単位に換算する式を考える。また、8桁の電卓で計算して桁数が足りなくなる場合に、整数のしくみを用いて工夫して答えを求める。	
1 (0)	2 2 1 5	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[いろいろな数の表し方をくらべよう！]* (p.156～157)★	・選択的活動として、古代エジプトで使われていた数の表し方を知る。 ・千兆よりも大きい位の命数法について知る。	・[以外]の「はってん」扱いの学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:いろいろな数の表し方をくらべよう！」

◎ ふくしゅう①

頁	学習活動
2 3	・第3学年「小数」「2けたの数のかけ算」「□を使った式と図」の復習をする。 ・単元2「わり算の筆算」に関わる既習事項を確認する。

2 わり算の筆算

4月下旬～5月中旬 (11時間⇒10時間+[以外])
p.24～43

◆単元の目標と評価規準

○除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ), A(3)イ(ア)】

- ・除数が1位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、被除数=除数×商+あまりの関係について理解している。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
		(2けた÷1けたの計算)	①2位数÷1位数の除法の計算のしかたを理解する。	・「1人分の折り紙は何まいかな？」の活動をきっかけに、63÷3の計算のしかたを振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに興味をもつ。 ・72÷3のような、2位数÷1位数の除法の計算のしかたを考える。(p.40～41の[友だちのノートを見てみよう]も扱う。)	
			[わり算の見積もり]	・除法の答えの見積もりのしかたを知る。	

1 0	2 4 5 4 1	(3けた÷1けたの計算)	②2位数÷1位数の除法の筆算のしかたを理解する。	・72÷3のような、2位数÷1位数の除法の筆算のしかたを考える。		
			③2位数÷1位数であまりのある除法の計算ができ、被除数=除数×商+あまりの関係を理解して、計算の確かめに用いることができる。また、「商」の意味を理解する。	・85÷3のような、あまりのある除法の計算のしかたを考える。 ・あまりのある除法の答えの確かめのしかたを考える。 ・「商」の意味を知る。		
			④2位数÷1位数で十の位が整除される場合や、十の位に商が立たない場合の除法の計算ができる。また、2位数÷1位数で商の一の位が0になる場合の除法の計算ができる。	・69÷3のような、十の位が整除される場合や、47÷9のような、十の位の商が立たない場合の除法の計算のしかたを考える。 ・83÷4のような、商の一の位が0になる場合の除法の計算のしかたを考える。		
			⑤3位数÷1位数=3位数の除法の計算ができる。	・600÷3の計算のしかたを100をもとにして考える。 ・736÷3のような、3位数÷1位数=3位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。		
			⑥3位数÷1位数で商の一の位や十の位に0が立つ除法の計算ができる。	・812÷3や758÷7のような、商の一の位や十の位に0が立つ除法の計算のしかたを考える。		
			⑦3位数÷1位数=2位数の除法の計算ができる。	・214÷6のような、百の位に商が立たない3位数÷1位数=2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。		
			(倍の計算)	⑧倍の意味と求め方について理解を深める。(第一用法)	・12mが3mの何倍かを求め、その求め方を図や式を用いて説明する。	
			(わり算の暗算)	⑨比較量と倍がわかっているときの、基準量の求め方を理解する。(第三用法)	・もとにする重さの3倍が18tの場面で、基準量を□tとした式に表し、基準量を求めるしかたを考える。	
			⑩除法の暗算ができる。	・96÷3, 92÷4のような、2位数÷1位数の暗算のしかたを考える。		
			[いろいろな国の筆算]	・いろいろな国の除法の筆算形式を知る。		
[友だちのノートを見てみよう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。					
1 (0)	4 3 5	まとめ	⑪学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。	

5月中旬～下旬（9時間⇒8時間+〔以外〕）
p.44～57

3 折れ線グラフ

◆単元の目標と評価規準

○折れ線グラフについて理解し、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目してグラフに的確に表現し、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を養う。また、その過程を振り返り、グラフの表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(イ)、D(1)イ(ア)】

- ・折れ線グラフの特徴について理解し、表したりよみ取ったりすることができる。<知・技>
- ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について考察している。<思・判・表>
- ・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
7	4 4 5 4	(折れ線グラフのかき方)	①②折れ線グラフのよみ方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「気温の様子を表そう！」の活動をきっかけに、1日の気温の変化の様子をわかりやすく表すことに興味をもつ。 ・変化の様子を表すグラフとして、折れ線グラフのよみ方を知る。 ・折れ線グラフの傾きと変化の大きさについてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習で、p.44の「気温の様子を表そう！」、及びp.45の双葉の問題に取り組み、「気温調べ」の表を作成する。 ・授業では、予習をもとに「はてな？」のフキダシ、及び葉1から取り組み、p.48までの第1・2時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.48の□1、□2に取り組む。
			③④折れ線グラフのかき方を理解する。 2つの折れ線グラフを同じグラフ用紙に表して、変化の様子を比べることができる。★	<ul style="list-style-type: none"> ・1日の気温の変化を表すことをとおして、折れ線グラフのかき方を知る。 ・5月15日と16日の気温の変化の折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察する。 	
			⑤折れ線グラフの途中の目盛りを波線で省略する場合を理解する。★	<ul style="list-style-type: none"> ・ハムスターの体重調べをとおして、折れ線グラフでは途中の目盛りを波線で省略して変化の様子を見やすくする場合があることを知る。 	
			⑥適切な目盛りの付け方や省略のしかたを考え、折れ線グラフについて理解を深める。★	<ul style="list-style-type: none"> ・体温の変化を表すのに適した目盛りの付け方や省略のしかたを考える。 	
			⑦折れ線グラフからよみ取れる変化の様子を、日常の事象と関連づけて捉えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・やかんで水を温めたときの温度の変化にあった折れ線グラフを判断する。 ・ヘチマの草丈の折れ線グラフを見て、よみ取れることとよみ取れないことを判断する。 	
1	5 5	学んだことを使おう	⑧棒グラフと折れ線グラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察することができる。★	<ul style="list-style-type: none"> ・「グラフを組み合わせて調べよう！」という目的意識から、気温と降水量の変化のグラフを同じグラフ用紙に表し、それらを関連づけて考察する。 	
1 (0)	5 6 7	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[コンピュータで折れ線グラフをつくろう！] (p.158) ★	<ul style="list-style-type: none"> ・選択的活動として、コンピュータを使って表を折れ線グラフに表したり、グラフをよみ取りやすく作り直したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

- ★まなびリンク シミュレーション「折れ線グラフツール」
- ★まなびリンク 資料「各地の過去の気象データ(気象庁)」
- ★まなびリンク ワークシート「広がる算数:コンピュータで折れ線グラフをつくろう！」

■ 油分け

5月下旬（1時間）
p.58

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	5 8		①筋道を立てて考える力を伸ばす。★	<ul style="list-style-type: none"> ・7dLや3dLの容器を使って5dLを量り取る方法を考える。 	

- ★まなびリンク 資料「江戸の数学(国立国会図書館)」

4 角

◆単元の目標と評価規準

○角の大きさについて理解し、角の大きさを測定したり作図したりすることができるとともに、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、角の大きさの単位と測定の下さに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(5)ア(ア)(イ), B(5)イ(ア)】

- ・角の大きさを回転の大きさとして捉え、角の大きさの単位「度(°)」について理解し、角の大きさを測定することができる。<知・技>
- ・図形の角の大きさに着目し、角の大きさを柔軟に表現したり、図形の考察に生かしたりしている。<思・判・表>
- ・角の大きさについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学の下さに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
6	5 9 6 9	(角のかき方)	①②回転した量としての角の大きさの意味、分度器の機能と使い方、角の大きさの単位「度(°)」を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「三角定規の角をつくろう!」の活動をきっかけに、角の意味について振り返るとともに、いろいろな大きさの角をつくることに興味をもつ。 ・2枚の円を重ねて回す活動をとおして、回転の量としての角の大きさの意味を知り、角の大きさの比較・測定のしかたを考える。 ・角の大きさの単位「度(°)」を知り、直角=90°を知る。 ・分度器を使った測定のしかたを知る。 	
			③直角を単位にした角の大きさの表し方を理解する。 三角定規の角を調べ、角の大きさの加法性について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・直角を単位にした角の大きさと表し方を知る。 ・三角定規の角の大きさを知る。また、三角定規の角を組み合わせているいろいろな大きさの角を作り、角の大きさは加減計算できることを知る。 	
			④180°より大きい角度の測定のしかたを考えることができる。	・180°より大きい角度を、分度器を使って測定するしかたを考え、説明する。	
			⑤分度器を使って、角を作図することができる。★	<ul style="list-style-type: none"> ・分度器を使って、35°の角を作図する。 ・分度器を使って、240°の角を作図する。 	
			[直線が交わってできる角度]	・2本の直線が交わってできる角(対頂角)の大きさを調べ、それらが等しくなることを知る。	
			⑥分度器を使って、三角形を作図することができる。 [算数メモ]*	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの辺の長さとおよそ90°の角度から、分度器を使って三角形を作図する。 ・時計の針が2回転する角度は720°になることから、360°より大きい回転角について知る。 	
1	7 0	学んだことを使おう	⑦身のまわりの角の大きさを調べ、角の大きさについての感覚を豊かにする。	・「身のまわりの角度を調べよう!」という目的意識から、角度を測定する道具を作って、身のまわりの角度を調べる。	
1 (0)	7 2	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[2つの三角定規でできる角度は?](p.159)★	・選択的活動として、2枚の三角定規を組み合わせて、いろいろな角度を作る。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク 動画「角のかき方(右きき)(左きき)」

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:2つの三角定規でできる角度は?」

◎ ふくしゅう②

頁	学習活動
7 3	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きな数」「折れ線グラフ」の復習をする。 ・単元5「2けたの数のわり算」に関わる既習事項を確認する。

5 2けたの数のわり算

6月中旬～7月上旬（12時間⇒11時間+[以外]）

p.74～89

◆単元の目標と評価規準

○除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の除法について理解し、計算ができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討して、よりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(3)ア(ア)(イ)(ウ)(エ), A(3)イ(ア)】

- ・除数が2位数で被除数が2位数や3位数の場合の計算が、基本的な計算をもとにしてできることや、その筆算のしかたについて理解し、除法の計算が確実にできる。また、除法に関して成り立つ性質について理解している。<知・技>
- ・数量の関係に着目し、計算のしかたを考えたり計算に関して成り立つ性質を見いだしたりしているとともに、その性質を活用して、計算を工夫したり計算の確かめをしたりしている。<思・判・表>
- ・整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 (0)	8 8 9 5	(何十でわる計算)	①何十÷何十や、何百何十÷何十の除法の計算のしかたを理解する。	・「80まいの折り紙を分けよう！」の活動をきっかけに、既習の計算を振り返るとともに、未習の問題に取り組むことに関心をもつ。 ・80÷20のような、何十÷何十の除法の計算を10をもとにして考える。	
		(2けた÷2けたの計算)	②何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて理解する。	・140÷40のような、何百何十÷何十であまりのある除法の、あまりの大きさについて考える。	
			③④2位数÷2位数の除法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・85÷21のような、2位数÷2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	
		(商の見つけ方①)	⑤除数を切り捨てる仮商の見つけ方と、仮商(過大商)の修正のしかたを理解する。	・94÷32のような、仮商修正が1回ある除法の計算のしかたを考える。 ・61÷13のような、仮商修正が2回以上ある除法の計算のしかたを考える。	
		(商の見つけ方②)	⑥除数を切り上げる仮商の見つけ方と、仮商(過小商)の修正のしかたを理解する。	・87÷17の計算で、仮商を立てるときに除数を切り捨てる場合と切り上げる場合について考えることをとおして、見当をつけた商が小さすぎた場合の計算のしかたを考える。	
		(3けた÷2けたの計算)	⑦3位数÷2位数=1位数の除法の計算ができる。	・172÷21や268÷35のような、3位数÷2位数=1位数の除法の計算のしかたを考える。	
			⑧3位数÷2位数=2位数の除法の計算ができる。	・385÷12のような、3位数÷2位数=2位数の除法の計算のしかたを考え、筆算のしかたをまとめる。	
			⑨4位数÷2位数の除法の計算ができる。	・6522÷27のような、4位数÷2位数の除法の計算のしかたを考える。 ・2776÷46や3016÷28のような、商に0が立つ除法の計算のしかたを考える。	
		(わり算のきまり)	⑩被除数と除数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらないことを理解する。	・□÷○=4の□と○にあてはまる数を考え、被除数と除数の関係のことをとおして、除法のきまりを知る。	
			⑪末位に0がある除法の計算のしかたを理解する。	・3600÷90や3800÷900のような、末位に0がある場合の除法の計算のしかたを、除法のきまりを用いて工夫して考える。	
1 (0)	8 8 9 5	まとめ	⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

6 がい数

◆単元の目標と評価規準

○概数や四捨五入について理解し、目的に応じて概数で表したり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるとともに、目的に合った数の処理のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、概数を用いるよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(2)ア(ア)(イ)(ウ), A(2)イ(ア)】

- ・概数がいられる場合や四捨五入について知り、目的に応じて概数を作ったり、四則計算の結果の見積もりをしたりすることができる。<知・技>
- ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・概数について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	9 0 5 9 6		①概数の意味、概数を用いる目的やよさを理解する。	・「本当にぴったりの数なのかな？」の活動をきっかけに、図鑑などに載っているぴったりの数値に関心をもつ。 ・4300種類や46億年前のようなおよその数についての話し合いをとおして、概数の意味を知る。	
			②四捨五入の意味を理解し、四捨五入して「○の位までの概数にする」ことができる。	・マラソン大会の参加者数を概数で表すしかたを数直線をもとに考え、四捨五入して「○の位までの概数にする」しかたを知る。	
			③四捨五入して「上から○桁の概数にする」ことができる。	・四捨五入して「上から○桁の概数にする」しかたを知る。	
			④四捨五入して概数にしたときの、もとの数の範囲について理解する。また、「以上」「以下」「未満」の意味を理解する。	・四捨五入して百の位までの概数にしたときに700になる数の範囲を考える。 ・以上、以下、未満の意味を知り、これらの言葉を用いて数の範囲を表す。	
3	9 7 5 1 0 1	がい数を使った計算	⑤和や差を概数で見積もることができる。	・買い物合計金額を見積もる場面 で、 $197 + 128 + 173$ のような加法を $200 + 100 + 200$ とみて、概算する場 合があることを知る。	
			⑥積や商を概数で見積もることができる。	・代金の合計金額を見積もる場面 で、 98×42 を 100×40 、 $6000 \div 42$ を $6000 \div 40$ とみて、概算する場 合があることを知る。	
			⑦切り上げ、切り捨ての意味を理解し、目的に応じて用いることができる。	・買い物をするときに500円で足りる かを考える場面、それぞれの代金を 切り上げて見積もるしかたを知る。 ・買い物をするときに500円以上にな るかを考える場面、それぞれの代 金を切り捨てて見積もるしかたを知 る。	
1	1 0 2 3 5	学んだことを使おう	⑧目的に合った概数の表し方や用い方を考えることができる。	・「目標まであと何まい？」という目的意識から、使用済み切手の枚数を概数を用いて棒グラフに表したり、目標の枚数を達成するには約何枚の切手を集めればよいか見積もったりする。	
			[がい数さがし]	・インターネットや本などで、概数で表されているものを見つける。	
1 (0)	1 0 4 5	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

■ こわれた電たく

7月中旬 (1時間)
p.106

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 0 6		①乗法に関して成り立つ性質について理解を深める。	・5のキーを使わないで、 18×25 の答えを表示させる方法を、乗法に関して成り立つ性質などを用いて考える。	

◎ ふくしゅう③

頁	学習活動
1 0 7	・「角」「2けたの数のわり算」「倍の計算」の復習をする。

7 垂直、平行と四角形

9月上旬～下旬 (14時間⇒13時間+[以外])
p.108～131

◆単元の目標と評価規準

○直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形の性質を見いだしたり構成のしかたを考えたりする力を身につける。また、その過程において、多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度や、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(1)ア(ア)(イ), B(1)イ(ア)】

- ・直線の垂直や平行の関係及び台形、平行四辺形、ひし形について理解し、それらの図形を作図することができる。<知・技>
- ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、その性質をもとに既習の図形を捉え直している。<思・判・表>
- ・台形、平行四辺形、ひし形などについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
6	1 0 8 1 1 7	垂直と平行 (垂直、平行な直線のかき方)	①垂直の意味を理解する。	・「写真と同じ場所の地図は？」の活動をきっかけに、写真と地図の道の交わり方や並び方に関心をもつ。 ・地図を見て、直線の交わり方を調べ、垂直の意味を知る。	
			②平行の意味、性質を理解する。	・地図を見て、直線の並び方を調べ、平行の意味を知る。 ・平行な2直線の幅を調べ、2直線の幅はどれも等しいことや、2直線をどこまで伸ばしても交わらないことを知る。	
			③平行の性質を理解する。	・平行な直線と交わる直線が作る角の大きさを調べ、平行な直線はほかの直線と等しい角度で交わることを知る。	
			④⑤垂直な直線、平行な直線の作図のしかたを理解する。★	・方眼を使って、垂直や平行な直線の作図のしかたを考える。 ・1組の三角定規を使って、垂直な直線の作図のしかたを考える。 ・1組の三角定規を使って、平行な直線の作図のしかたを考える。	・予習で、p.114の葉5に取り組み、方眼を使って垂直、平行な直線を作図する。 ・第4時の授業では、予習をもとに方眼を使った作図のしかたの振り返りから指導するとともに、p.115の葉6の三角定規を使った垂直な直線を扱う。 ・第5時の授業では、p.116の葉7の三角定規を使った平行な直線の作図、及びp.117の葉8の活動を扱い、第4・5・6時を2時間で指導することが考えられる。
			⑥具体物を使って垂直、平行を作り、その意味について理解を深める。 [垂直、平行さがし]	・紙を折って垂直な直線や平行な直線を作る。 ・身のまわりから垂直や平行の関係にあるものを見つける。	・授業後に、[以外]の学習活動としてp.117の「垂直、平行さがし」の活動に取り組む。また、垂直、平行な直線の作図については、[以外]の学習活動として継続的に取り組む。その際、可能であれば、「まなびリンク」のデジタルコンテンツを利用して取り組む。

7	1 1 8 5 1 2 9	四角形	⑦台形, 平行四辺形の意味を理解する。	・ノートにかいた図の中から見つけたいろいろな四角形を, 辺の並び方に着目して分類し, 台形, 平行四辺形について知る。	
		[算数のミカタ]		・図形の特徴を調べるとき, これまでの見方に加えて, 辺の並び方(垂直, 平行)という観点に着目したことを振り返る。	
			⑧平行四辺形の性質を理解する。	・平行な2直線を使って台形, 平行四辺形をかく。 ・平行四辺形の辺の長さや角の大きさを調べ, 向かい合った辺の長さや角の大きさはそれぞれ等しいことを知る。	
			⑨ひし形の意味, 性質を理解する。	・紙を4つに折ってかどを切り取ってできる四角形を調べることをとおして, ひし形について知る。 ・ひし形の辺の並び方や角の大きさを調べ, 向かい合った辺は平行なことや, 向かい合った角の大きさは等しいことを知る。	
		(いろいろな四角形のかき方)	⑩平行四辺形の作図のしかたを理解する。 ★	・平行四辺形の意味や性質をもとに, 作図のしかたを考える。	
			⑪台形, ひし形の作図のしかたを理解する。	・台形やひし形の意味や性質をもとに, 作図のしかたを考える。 ・円の半径を用いてひし形をかく。	
		(四角形の対角線)	⑫対角線の意味, 四角形の対角線の性質を理解する。	・対角線について知り, いろいろな四角形の対角線の長さや交わり方を調べる。	
	⑬平行四辺形や台形の性質をもとに, それらを敷き詰めた図のかき方を考え, 理解を深める。	・同じ形(合同)の平行四辺形や台形を敷き詰めた図のかき方を考える。			
1 (0) 1	1 3 0 1	まとめ	⑭学習内容の理解を確認し, 確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

- ★まなびリンク 動画「垂直な直線のかき方(右きき)(左きき)」
- ★まなびリンク 動画「平行な直線のかき方(右きき)(左きき)」
- ★まなびリンク 動画「長さの写し取り方(右きき)(左きき)」

9月下旬～10月上旬 (8時間⇒7時間+[以外])
p.132～143

8 式と計算

◆単元の目標と評価規準

○数量の関係を表す式, 及び計算に関して成り立つ性質について理解し, 正しく計算することができるとともに, 数量の関係を式に表したり式の意味をよみ取ったりする力を身につける。また, その過程を振り返り, 式のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(6)ア(ア)(イ)(ウ), A(6)イ(ア), A(7)ア(ア), A(7)イ(ア)】

- ・四則の混合した式や()を用いた式について理解し, 正しく計算することができる。また, 四則に関して成り立つ性質についての理解を深め, その関係を○, △などを用いて式に表したり, 数をあてはめて調べたりすることができる。<知・技>
- ・問題場面の数量の關係に着目し, 数量の關係を簡潔に, また一般的に表現したり, 式の意味をよみ取ったりしている。また, 計算に関して成り立つ性質を用いて計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・数量の關係を表す式, 及び計算に関して成り立つ性質に関わることについて, 数学的に表現・処理したことを振り返り, 数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
7	1 3 2 5 1 4 1	(計算のきまり)	①()を用いた式の計算順序を理解する。(加法と減法)	<ul style="list-style-type: none"> ・「買い方を式に表そう!」の活動をきっかけに、パンとジュースの買い方の違いを式に表すことに興味をもつ。 ・500円で230円のパンと150円のジュースを買ったときの残金を求める場面を、()を用いて1つの式に表す。 	
			②()を用いた式の計算順序を理解する。(四則混合)	<ul style="list-style-type: none"> ・1本50円の色鉛筆の赤を12本、青を8本買うときの代金を、()を用いて1つの式に表す。 ・1袋6枚入りのクッキーを3袋買ったときの代金810円からクッキー1枚の値段を求める場面を、()を用いて1つの式に表す。 	
			③乗法や除法は、()がなくても加法や減法よりも先に計算することを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・200枚の折り紙から30枚ずつ5人に配った残りの枚数を、()を用いずに1つの式に表せることを知る。 ・100円の消しゴムと1ダースの480円の鉛筆を半ダース買ったときの代金を求める場面を、()を用いずに1つの式に表せることを知る。 	
			④四則の混合した式や、()を用いた式の計算順序についてまとめ、理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・$6 \times 8 - 4 \div 2$の式に、()がある場合とない場合の計算順序の違いを比べることをとおして、()を用いた式や四則の混合した式の計算順序についてまとめる。 	
			⑤乗法と加法、減法の分配法則を理解する。また、既習の計算法則を○、△などの記号を用いた式に表し、理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・切手の代金を求める場面で、$(100 + 30) \times 5$と$100 + 30 \times 5$を比べることをとおして、乗法と加法の分配法則を知る。 ・乗法と減法の分配法則をアレイ図を用いて説明する。 ・分配法則、交換法則、結合法則を○、△などの記号を用いた式に表し、数をあてはめて成り立つことを確かめる。 	
			⑥乗法のきまりと除法のきまりを対比し、理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・40×2と$80 \div 2$という式について、被乗数や被除数、乗数や除数を10倍すると積や商はどのように変わるか調べて、乗除の計算のきまりをまとめる。 	
			⑦計算のきまりを用いて工夫して計算をすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・きりのよい数になるように組み合わせたり、99を$(100 - 1)$とみたりするなどの工夫をして、計算をする。 	
1 (0) ()	1 4 2 3 5	まとめ	⑧学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[4つの4でいくつができる?](p.160)★	<ul style="list-style-type: none"> ・選択的活動として、4つの4と演算記号、()を用いて、答えが0から9になる式を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:4つの4でいくつができる?」

<下巻>

10月上旬～下旬 (12時間⇒11時間+[以外])

9 面積

p.2～21

◆単元の目標と評価規準

○平面図形の面積、及び公式についての考え方を理解し、長方形や正方形の面積の求め方を考える力を身につける。また、その過程を振り返り、面積の単位と計算による求め方のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ), B(4)ア(ア)(イ), B(4)イ(ア)】

- ・面積の単位「 cm^2 , m^2 , km^2 , a, ha」と測定の意味、単位の関係について理解し、長方形及び正方形の面積を公式を用いて求めることができる。<知・技>
- ・面積の単位や図形を構成する要素に着目し、図形の面積の求め方を考えているとともに、面積の単位とこれまでに学習した単位との関係を考察している。<思・判・表>
- ・長方形や正方形の面積について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1 1 9	2 (1 9	(長方形や正方形の面積)	①②面積の意味、面積の比べ方、面積の単位「 cm^2 」を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「どの花だんが広いかな？」の活動をきっかけに、3つの花だんの広さの比べ方に関心をもつ。 ・長方形と正方形の広さを比べることをとおして、面積の比較・測定のしかたや意味について考える。 ・面積の単位「平方センチメートル(cm^2)」を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予習で、p.2～3の「どの花だんが広いかな？」に取り組み、双葉の問題について自分の考えをもつ。 ・授業では、予習をもとにp.3の葉1の問題から取り組み、p.5までの第1・2時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.5の□1, □2に取り組む。
		(大きな面積の単位)	③長方形の面積を計算で求めるしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・長方形の面積を計算で求めるしかたを考える。 	
			④正方形の面積を計算で求めるしかた、及び長方形と正方形の面積の公式を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・正方形の面積を計算で求めるしかたを考える。 ・長方形、正方形の面積を計算で求めるしかたを公式にまとめる。 ・公式の意味を知る。 	
			⑤面積の単位「 m^2 」と単位の関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教室のような広いところの面積は、1辺が1mの正方形の面積を単位にして表すとよいことを知り、面積の単位「平方メートル(m^2)」を知る。 ・1m^2と1cm^2の関係を調べ、$1\text{m}^2 = 10000\text{cm}^2$を知る。 	
			⑥面積の公式は、辺の長さの単位をそろえて用いることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・縦がcm単位、横がm単位で表されている長方形の面積の求め方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業では、p.9の葉6、及びp.10の葉7を扱い、第6・7時を1時間で指導することが考えられる。 ・授業後に、[以外]の学習活動としてp.9の□7, p.10の□8に取り組む。 ・「1m^2の大きさ」の活動は休み時間などを利用して扱うことで、算数科としては時数に含めないことが考えられる。
			⑦長方形の面積公式を用いて、面積と1辺の長さから、もう1辺の長さを求めることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・面積が2400cm^2で横の長さが60cmの長方形の形をした机の縦の長さを、面積の公式を用いて求めるしかたを考える。 	
			[1m^2 の大きさ]	<ul style="list-style-type: none"> ・1m^2に入る人数を調べることとおして、1m^2の大きさを体感する。 	
			⑧面積の単位「 km^2 」と単位の関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・面積の単位「平方キロメートル(km^2)」を知り、$1\text{km}^2 = 1000000\text{m}^2$を知る。 	
			⑨正方形の1辺の長さが10倍になると、その面積は100倍になることを理解する。 面積の単位「a, ha」と単位の関係を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・正方形の1辺の長さが10倍になると、面積は何倍になるか調べる。 ・面積の単位「アール(a)」を知り、$1\text{a} = 100\text{m}^2$を知る。 ・面積の単位「ヘクタール(ha)」を知り、$1\text{ha} = 10000\text{m}^2$を知る。 	
			⑩長さの単位と面積の単位の間をまとめ、理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・長さの単位をもとに、面積の単位の間をまとめる。 	
		[面積を調べよう]	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館や教室など長方形や正方形の形をしたものの面積を、予想してから調べる。 		

		(面積の公式を使って)	⑪複合図形の面積の求め方を考え説明し、面積の公式についての理解を深める。	・長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を考え、図や式、言葉などを用いて説明する。	
			[友だちのノートを見てみよう]	・教科書のノート例や友だちのノートを見て、ノートの書き方の工夫について話し合う。	・授業後に、[以外]の学習活動としてp.18～19を読み、ノートの書き方を確認する。
1 (0)	2 2 1 0 1	まとめ	⑫学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[100cm ² の四角形を作ろう！](p.146～147)★	・選択的活動として、面積が25cm ² の4つの直角三角形を組み合わせて、面積が100cm ² の四角形を作る。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:100cm²の四角形を作ろう！」

10 整理のしかた

10月下旬～11月上旬 (6時間⇒5時間+[以外])

p.22～33

◆単元の目標と評価規準

○データを2つの観点から分類整理する方法について理解し、目的に応じてデータを収集し、二次元表に表したりよんだりすることができるとともに、それらを用いて問題を解決したり、解決の過程や結果を多面的に捉え考察したりする力を身につける。また、その過程を振り返り、二次元表の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 D(1)ア(ア), D(1)イ(ア)】

- ・データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表したりよんだりすることができる。<知・技>
- ・目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、二次元表を用いて問題を解決したり、その結論について考察したりしている。<思・判・表>
- ・データの収集とその分析について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	2 2 1 2 9		①②データを2つの観点から分類整理する方法を理解し、二次元表に表して特徴を調べることができる。	・「ポスターをはる場所を考えよう！」の活動をきっかけに、1週間のけがの種類とけがをした場所を整理することに関心をもち、それぞれ落ちや重なりがないように調べて表にまとめる。 ・けがの種類と場所の2つの事柄がわかりやすくなるように二次元表に表して、その特徴を調べる。	
			③④2つの観点から起こり得る場合を分類整理し、二次元表に表して特徴を調べることができる。	・学校の教室の様子の図をもとに、2つの観点から起こり得る場合を考えて、二次元表にまとめる。	
1	3 1 0 1	学んだことを使おう	⑤統計的な問題解決の方法を理解する。	・「データを集めて、表やグラフで伝えよう！」という目的意識から、図書室の利用の様子を調べて図書新聞を作る場合を例にして、統計的な問題解決の方法を知る。	
1 (0)	3 3 2 3	まとめ	⑥学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[統計まちがいクイズにちょうせん！](p.148)★	・選択的活動として、不適切に処理されたグラフや表をもとに導かれた統計的な結論の誤りについて考察する。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:統計まちがいクイズにちょうせん！」

■ つないだ輪を切って

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	3 4		①つないだ輪を切ってできる形について、図形の性質に着目して筋道を立てて考え説明し、図形についての感覚を豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> 同じ大きさの輪を垂直に貼り合わせ、輪の中心に沿って切ってできる形について考える。 輪を大小にした場合や貼り合わせ方を斜めにした場合など、条件を変えてできる形について考える。 	

◎ ふくしゅう④

時	頁	学習活動
	3 5	<ul style="list-style-type: none"> 「垂直、平行と四角形」「がい数」「式と計算」「面積」の復習をする。 単元11「小数のしくみとたし算、ひき算」に関わる既習事項を確認する。

11 小数のしくみとたし算、ひき算

11月中旬～下旬（13時間⇒12時間+[以外]）

p.36～51

◆単元の目標と評価規準

○小数のしくみや数の相対的な大きさについて理解を深め、小数の加法及び減法の計算のしかたについて、図や式などを用いて考える力を身につける。また、その過程を振り返り、十進数としての表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(イ)ウ, A(4)イ(ア)】

- ・小数が整数と同じしくみで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについての理解を深めている。また、小数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>
- ・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・小数とその計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
6	3 6 4 3	0.1より小さい小数	①1/100の位までの小数のよみ方、表し方、数の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 「水のかさは何Lかな？」の活動をきっかけに、0.1Lに満たない端数部分のかさの表し方に関心をもつ。 1.5Lとあと少しのかさをL単位で表すことをとおして、0.1Lの1/10が0.01Lであることを知る。また、1.5Lと0.08Lをあわせたかさを、1.58Lと表すことを知る。 	
			②1/1000の位までの小数のよみ方、表し方、数の構成を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 798mをkm単位で表すことをとおして、0.01kmの1/10が0.001kmであることを知る。また、798mが0.798kmと表すことを知る。 	
			③1, 0.1, 0.01, 0.001の関係を調べ、小数が整数と同じしくみになっていることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 1, 0.1, 0.01, 0.001の関係を調べ、1/10, 1/100, 1/1000や、10倍, 100倍, 1000倍になっていることを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 予習で、p.40の葉3に取り組み、教科書の書き込み欄にあてはまる数を考える。 授業では、予習をもとに小数のしくみについての発表・話し合いから取り組み、p.41の葉4までの第3・4時を1時間で指導することが考えられる。 授業後に、[以外]の学習活動としてp.41の□7, □8に取り組む。
			④十進位取り記数法をもとに、小数の位取り(1/100の位, 1/1000の位)を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 1.816のしくみを調べることをとおして、小数の位取り(1/100の位, 1/1000の位)と、整数、小数の十進数としてのしくみを知る。 	
			⑤数の相対的な大きさ、小数の大小について理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 数直線や数の構成をもとに、1.36は0.01のいくつ分かを考える。 小数の大小比較のしかたを考える。 	
			⑥小数を10倍、1/10にした数の大きさと表し方を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 3.48を10倍、1/10にした数の大きさを調べることをとおして、小数も10倍すると位が1桁上がり、1/10にすると位が1桁下がることを知る。 	

6	4 4 5 4 9	小数のたし算、ひき算	⑦1/100の位までの小数の加法の計算のしかたを理解する。	・1.53+2.41のような、1/100の位までの小数の加法の計算のしかたを考える。	
			⑧末尾の位がそろっていない小数の加法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。	・1.3+1.62のような、末尾の位がそろっていない小数の加法の計算のしかたを考え、小数の加法の筆算のしかたをまとめる。	
			⑨和の末位が0になる場合や、整数と小数の加法の計算ができる。	・0.526+0.374のような、和の末位が0になる加法の計算のしかたを考える。 ・3.72+7のような、小数と整数の加法の計算のしかたを考える。	
			⑩1/100の位までの小数の減法の計算のしかたを理解する。	・3.89-2.63のような、1/100の位までの小数の減法の計算のしかたを考える。	
			⑪末尾の位がそろっていない小数の減法の計算のしかたを理解し、筆算ができる。また、整数と小数の減法の計算ができる。	・6.4-1.73のような、末尾の位がそろっていない小数の減法の計算のしかたを考え、小数の減法の筆算のしかたをまとめる。 ・3-0.456のような、整数-小数の減法の計算のしかたを考える。	
		(計算のきまり)	⑫加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを理解する。	・○、△、□にいろいろな小数をあてはめて、加法の交換法則、結合法則が小数でも成り立つことを確かめる。	
1 (0)	5 1 5 0 5	まとめ	⑬学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

12 変わり方

11月下旬～12月上旬 (5時間⇒4時間+[以外])

p.52～59

◆単元の目標と評価規準

○伴って変わる2つの数量について、変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表すことができるとともに、それらを用いて変化や対応の特徴を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、関数の考えのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(6)ア(イ)(ウ), C(1)ア(ア), C(1)イ(ア)】

- ・変化の様子を表や式、折れ線グラフを用いて表したり、変化の特徴をよみ取ったりすることができる。<知・技>
- ・伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。<思・判・表>
- ・伴って変わる2つの数量について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	5 2 5 8		①②伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べることができる。また、その関係を式やグラフに表すことができる。 ($x+y=a$ の関係)	・「ともなって変わる数を見つけよう！」の活動をきっかけに、身のまわりにある一方が変わると、伴ってもう一方も変わる数量に関心をもつ。 ・18cmのひもで長方形を作るときの、横の長さや縦の長さの関係を表に表し、変化と対応の関係を調べたり、式やグラフに表したりする。(和が一定)	
			[算数のミカタ]	・変わり方のきまりを見つけるとき、伴って変わる数といつも変わらない数を見つけるといふ見方をしたことを振り返る。	
			③伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べることができる。また、その関係を式に表すことができる。 ($y=ax$ の関係)	・1辺が1cmの正方形の厚紙を階段状に並べていくときの、段数と周りの長さの関係を表に表し、変化と対応のきまりを調べたり、式に表したりする。(商が一定)	

			④伴って変わる2つの数量の関係を式に表し、式をもとに表やグラフに表して変化の特徴を調べることができる。 ($y=ax$ の関係)	・30円の菓子を何個か買う場合の個数と代金の関係を式に表し、式をもとに表やグラフに表して変化の特徴を調べる。(商が一定)	
1 (0)	5 9	まとめ	⑤学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[つるは何びき?かめは何びき?](p.149)★	・選択的活動として、緑表紙教科書に掲載されていた「鶴亀算」の問題を考える。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:つるは何びき?かめは何びき?」

13 くらべ方

12月上旬～中旬 (4時間⇒3時間+[以外])
p.60～67

◆単元の目標と評価規準

○簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知り、図や式などを用いて、それらの関係の比べ方を考察する力を身につける。また、その過程において、比べ方について多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 C(2)ア(ア), C(2)イ(ア)】

・簡単な場合について、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることを知っている。

<知・技>

・日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方を考察している。<思・判・表>

・ある2つの数量の関係と別の2つの数量の関係との比べ方について、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	6 0 5 6 6		①②2つの数量の関係を捉えるとき、差ではなく割合で捉えることが妥当な場合があることを理解する。	・「どちらが値上がりしたのかな?」の活動をきっかけに、大根の値上がりのしかたとキャベツの値上がりのしかたを図に表して比べる。 ・値上がりのしかたの比べ方を差と倍の見方で考え、それらの方法を対比することをとおして、割合の意味を知る。	
			③2つの数量の関係が同じ割合になっているものを判断することができる。	・ゴムひものもとの長さと同じ伸ばした長さの関係から、あるゴムひもと同じ伸び方をするゴムひもを判断する。 ・ゴムひものもとの長さと同じ伸ばした長さの関係から、もとの長さを変えたとき、何cmまで伸びるかを考える。	
			[算数のミカタ]	・2つの量の比べ方を考えるとき、差と割合という見方をしたことを振り返る。	
1 (0)	6 7	まとめ	④学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

14 そろばん

12月中旬（2時間）
p.68～70

◆単元の目標と評価規準

○そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができるとともに、そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程を振り返り、そろばんのよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。

【学習指導要領との関連 A(8)ア(ア), A(8)イ(ア)】

- ・そろばんによる数の表し方を理解し、加法及び減法の計算ができる。<知・技>
- ・そろばんのしくみに着目し、大きな数や小数の表し方及び計算のしかたを考えている。<思・判・表>
- ・そろばんについて、数学的に表現・処理したことを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	6 8 5 7 0	(数の表し方)	①そろばんによる整数や小数の表し方、10倍、100倍した大きさの数の表し方を理解する。★	・十進位取り記数法による数の表し方をもとに、そろばんでの整数や小数の表し方を知る。 ・そろばんを使って、0.25を10倍、100倍した数を表す。	
		(そろばんの計算)	②そろばんを使って、整数どうしの加減計算、大きな数や小数の加減計算ができる。	・53+24のような、整数どうしの加法の計算のしかたを知る。 ・87-64のような、整数どうしの減法の計算のしかたを知る。 ・基本的な加法、減法の珠の動かし方をもとに、大きい数や小数の加減計算のしかたを考える。	
			[数を入れると、おつりが見える?]★	・入っていない珠を見ておつりを判断する方法を知る。	

★まなびリンク シミュレーション「そろばんツール」

★まなびリンク 資料「そろばん学習についてのページ(日本珠算連盟)」

■ 方眼で九九を考えよう

12月下旬（1時間）
p.71

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	7 1		①方眼の図をもとに面積と乗法の式を関連づけて捉え、分配法則についての理解を深める。★	・九九の答えを方眼のます目で表したものを使って、 $5 \times 3 + 5 \times 4 = 5 \times 7$ になることを説明したり、九九の総和を求めたりする。	

★まなびリンク シミュレーション「九九の表ツール」

◎ ふくしゅう⑤

頁	学習活動
7 2	・「整理のしかた」「小数のしくみとたし算、ひき算」「変わり方」の復習をする。 ・単元15「小数と整数のかけ算、わり算」に関わる既習事項を確認する。

15 小数と整数のかけ算、わり算

1月上旬～2月上旬（15時間⇒13時間+[以外]）
p.73～93

◆単元の目標と評価規準

○小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味、及び小数を用いた倍について理解し、計算することができるとともに、図や式などを用いて計算のしかたを考える力を身につける。また、その過程において、計算のしかたを多面的に捉え検討してよりよい方法を粘り強く考える態度を養う。【学習指導要領との関連 A(4)ア(ア)(エ), A(4)イ(ア)】

- ・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法の意味について理解し、それらの計算ができる。また、ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知っている。<知・技>
- ・数の表し方のしくみや数を構成する単位に着目し、計算のしかたを考えるとともに、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>
- ・小数×整数の乗法、小数÷整数の除法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
4	7 3 5 7 8	小数に整数をか ける計算	①純小数×整数の乗 法の計算のしかたを理 解する。	・「6人分の材料は？」の活動をきっか けに、既習の計算を振り返るととも に、未習の問題に取り組むことに関 心をもつ。 ・ 0.2×6 のような、純小数×整数の乗 法の計算のしかたを考える。	
			②小数×整数の乗法 の計算のしかたを理解 し、筆算ができる。	・ 1.2×7 のような、小数×整数の乗法 の計算のしかたを考え、筆算のしかた をまとめる。 ・ 2.7×32 のような、乗数が2位数の場 合の乗法の計算のしかたを考える。	
			[算数のミカタ]	・新しい計算のしかたを考えると、 0.1をもとにしたり10倍したりして、整 数の計算とみる見方をしたことを振り 返る。	
			③小数×整数で、被乗 数が1/100の位までの 小数の乗法の計算が できる。	・ 1.24×8 のような、被乗数が1/100の 位までの小数の乗法の計算のしかた を考える。	
		④小数×整数で、積の 末位が0になる場合や、 被乗数が1/1000の位ま での小数の乗法の計 算ができる。	・ 1.35×4 のような、積の末位が0にな る場合の乗法の計算のしかたを考え る。 ・ 0.034×17 のような、被乗数が 1/1000の位までの小数の乗法の計 算のしかたを考える。		
9	7 9 5 9 0	小数を整数でわ る計算	⑤小数÷整数の除法 の計算のしかたを理解 する。	・ $3.6 \div 3$ のような、小数÷整数の除法 の計算のしかたを考える。	
			⑥小数÷整数の除法 の計算のしかたを理解 し、筆算ができる。	・ $13.6 \div 4$ のような、小数÷整数の除 法の計算のしかたを考え、筆算のし かたをまとめる。	
			⑦小数÷整数で、商が 1より小さくなる場合や、 除数が2位数の場合の 除法の計算ができる。	・ $5.4 \div 6$ のような、商が1より小さくなる 場合の除法の計算のしかたを考え る。 ・ $78.2 \div 23$ のような、除数が2位数の 除法の計算のしかたを考える。	
			⑧小数÷整数で、被除 数が1/100の位、 1/1000の位までの小数 の除法の計算ができ る。	・ $8.67 \div 3$ のような、被除数が1/100の 位までの小数の除法の計算のしかた を考える。 ・ $9.826 \div 34$ のような、被除数が 1/1000の位までの小数の除法の計 算のしかたを考える。	
		(わり進むわり算)	⑨わり進む除法の計算 のしかたを理解する。	・2.6mのリボンを4等分する場面で、 わり進んで答えを求める除法の計算 のしかたを考える。 ・ $13 \div 4$ のような、整数÷整数でわり進 む除法の計算のしかたを考える。	
		(商の四捨五入)	⑩わり進む除法で、商 を四捨五入して概数で 表す場合の計算のしか たを理解する。	・8mのリボンを3等分する場面で、商 を四捨五入して概数で求める除法の 計算のしかたを考える。	
(あまりのあるわり 算)	⑪小数÷整数の除法 のあまりの大きさにつ いて理解する。	・8.5cmのテープを3cmずつ切る場 面で、あまりを出す除法の計算のし かたを考える。			

		(倍の計算)	<p>⑫何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。(帯小数倍)</p> <p>⑬何倍かを表す数が小数になる場合があることを理解する。(純小数倍)</p> <p>[割合が1より小さいとき]*</p>	<p>・80cmのリボンは40cmのリボンの何倍かを求めることをとおして、倍の計算について振り返る。</p> <p>・40cmのリボンと100cmのリボンの長さを比べることをとおして、2.5倍のように何倍かを表す数が帯小数になる場合があることを知る。</p> <p>・80cmのリボンと40cmのリボンの長さを比べることをとおして、0.5倍のように何倍かを表す数が純小数になる場合があることを知る。</p> <p>・2つの数量の関係を割合を用いて表し比べるときに、割合が1より小さくなる場合があることを知る。</p>	<p>・[以外]の「はってん」扱いの学習活動として選択的に取り組む。</p>
1 (0)	9 1	学んだことを使おう	⑭身のまわりの事象を数理的に捉え、小数と整数の乗法、除法を活用できる場面を見出すことができる。	<p>・「小数のかけ算、わり算の問題をつくらう！」という目的意識から、学校の階段の1段分の高さをもとに1階から3階までの高さを求めるなど、乗法、除法を適用して解決できる場面を探して問題を作り、友だちと問題を解き合う。</p>	<p>・[以外]の学習活動として取り組み、家の中などで乗法や除法の問題作りをしてノート等にまとめる。</p>
1 (0)	9 3 5	まとめ	<p>⑮学習内容の理解を確認し、確実に身につける。</p> <p>[紙を折って富士山をめざそう！](p.150～151) ★</p> <p>[もっと小さい小数]*</p>	<p>・単元のまとめをする。</p> <p>・選択的活動として、厚さ0.1mmの紙を何回折って重ねると富士山の高さを超えるか考える。</p> <p>・分、厘、毛、…などの小数の位の呼び方を知り、1/1000の位よりも下の位があることを知る。</p>	<p>・[以外]の学習活動として取り組む。</p> <p>・わからない問題があれば個別に支援する。</p> <p>・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。</p> <p>・[以外]の「はってん」扱いの学習活動として選択的に取り組む。</p>

★まなびリンク ワークシート「広がる算数：紙を折って富士山をめざそう！」

16 立体

2月上旬～中旬 (9時間⇒8時間+[以外])
p.94～109

◆単元の目標と評価規準

○直方体や立方体について理解し、見取図や展開図による表現や構成のしかたを考察して図形の性質を見いだしたり、日常の事象を図形の性質から捉え直したりする力を身につけるとともに、ものの位置の表し方について理解し、数を用いて位置を表現する方法を考察する力を身につける。また、その過程を振り返り、図形の性質や表現を生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 B(2)ア(ア)(イ)(ウ), B(2)イ(ア), B(3)ア(ア), B(3)イ(ア)】

- ・直方体や立方体、及びそれらに関連して直線や平面の平行や垂直の関係について理解し、見取図や展開図を作図することができる。また、ものの位置の表し方について理解している。<知・技>
- ・図形を構成する要素及びそれらの位置関係に着目し、立体図形の平面上での表現や構成のしかたを考察し図形の性質を見いだしているとともに、日常の事象を図形の性質から捉え直している。また、平面や空間における位置を決める要素に着目し、その位置を数を用いて表現する方法を考察している。<思・判・表>
- ・直方体や立方体、及びものの位置の表し方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
		直方体と立方体	①直方体、立方体の意味を理解する。	<p>・「箱の形をあてよう！」の活動をきっかけに、箱の特徴を言葉で伝えることをとおして、立体図形の構成要素に関心をもつ。</p> <p>・箱を面の形に着目して分類し、直方体、立方体について知る。</p>	
			②直方体、立方体の構成要素(面、頂点、辺)や、平面の意味を理解する。	<p>・長方形や正方形の厚紙を使って直方体、立方体を作り、面の形と数を調べる。</p> <p>・直方体や立方体の面、頂点、辺の数を調べ、表にまとめる。</p> <p>・「平面」の用語を知る。</p>	

6	9 4 5 1 0 4	(面や辺の垂直、平行)	③④直方体、立方体の構成要素(面、辺)の平行、垂直関係を理解する。	・直方体、立方体の、面と面の平行や垂直を調べる。 ・直方体、立方体の、面と辺の平行や垂直を調べる。 ・直方体、立方体の、辺と辺の平行や垂直を調べる。	
		(展開図と見取図)	⑤展開図の意味を理解し、直方体の展開図をかくことができる。 立方体の展開図から構成要素の関係をよみ取ることができる。★	・直方体を切り開くことをとおして展開図について知り、展開図をかく。 ・展開図を組み立てたときに重なる頂点や辺、平行や垂直になる面の関係について調べる。	
			⑥見取図の意味を理解し、直方体、立方体の見取図をかくことができる。また、直方体、立方体の大きさを決定する要素について理解する。	・直方体、立方体の形を表現する方法として見取図について知り、見取図をかく。 ・直方体の大きさは縦、横、高さの3辺の長さで、立方体の大きさは1辺の長さで決まることを知る。	
1	1 0 5 6	位置の表し方	⑦平面上にある点の位置や、空間の中にある点の位置の表し方を理解する。	・公園の絵図を見て、平面上にある点の位置を2方向の長さで表す。 ・空間の中にある点の位置を3方向の長さで表す。	
1	1 0 7	学んだことを使おう	⑧ペントミノから立方体の展開図を考え、面と面のつながりや、立体図形と平面図形の関係について理解を深める。	・「ペントミノから立方体の展開図を作ろう!」という目的意識から、ペントミノに正方形をもう1枚つなげて、立方体の展開図を考える。	
1 (0)	1 0 8 9	まとめ	⑨学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	・単元のまとめをする。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。
			[箱を開くとくふうがいっぱい!](p.152~153) ★	・選択的活動として、身のまわりにある箱に関心をもち、段ボール箱やケーキの箱が、どのような1枚の平面から作られているのかを知る。	・[以外]の学習活動として選択的に取り組む。

★まなびリンク シミュレーション「立体の観察(直方体を辺にそって切り開く)」

★まなびリンク シミュレーション「立体の観察(立方体の展開図)」

★まなびリンク ワークシート「広がる算数:箱を開くとくふうがいっぱい!」

17 分数の大きさとたし算、ひき算

2月下旬~3月上旬 (10時間⇒8時間+[以外])

p.110~124

◆単元の目標と評価規準

○簡単な場合について大きさの等しい分数があることを知り、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを図や式などを用いて考えたりする力を身につける。また、その過程を振り返り、分数の表現のよさに気づき生活や学習に活用しようとする態度を養う。【学習指導要領との関連 A(5)ア(ア)(イ)、A(5)イ(ア)】

・簡単な場合について、大きさの等しい分数があることを知っている。また、同分母の分数の加法及び減法の計算ができる。<知・技>

・数を構成する単位に着目し、大きさの等しい分数を探したり、同分母の分数の加法及び減法の計算のしかたを考えたりしていると同時に、それを日常生活に生かしている。<思・判・表>

・分数とその加法及び減法について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしていたりしている。<態度>

◆指導計画と観点別評価規準

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
3	1 1 0 1 1 5	1より大きい分数	①1より大きい分数の表し方や、「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・「道のりは何kmかな？」の活動をきっかけに、既習の分数を振り返るとともに、1より大きい分数に関心をもつ。 ・$1\frac{1}{3}$kmの5つ分の道のりを表すことをとおして、整数部分の1kmと分数部分の$\frac{2}{3}$kmをあわせて、$1\frac{2}{3}$kmと表すことを知る。 ・「真分数」「仮分数」「帯分数」の意味を知る。 ・真分数、仮分数、帯分数を数直線に表したり、同分母の仮分数、同分母の帯分数の大小を比べたりする。 	
			②帯分数を仮分数で、仮分数を帯分数で表すしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$2\frac{3}{5}$のような帯分数を仮分数で表すしかたを考える。 ・$11/5$のような仮分数を帯分数で表すしかたを考える。 	
			③仮分数と帯分数の大小比較のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$25/7$と$3\frac{5}{7}$のような仮分数と帯分数の大小比較のしかたを考える。 	
1	1 1 1 6 7	大きさの等しい分数	④大きさの等しい分数があることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・面積図を用いて、$1/3$、$2/6$、$3/9$のように大きさの等しい分数があることを知る。 ・数直線を用いて、いろいろな分数の大きさを調べる。 	
4	1 1 8 1 2 1	分数のたし算とひき算	⑤同分母の分数の加法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$4/5+3/5$のような、同分母の分数の加法の計算のしかたを考える。 	
			⑥同分母の帯分数の加法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$2\frac{1}{5}+1\frac{3}{5}$のような、帯分数の加法の計算のしかたを考える。 ・$1\frac{2}{5}+2\frac{4}{5}$のような帯分数の加法で、真分数部分の和が仮分数になる場合の計算のしかたを考える。 	
			⑦同分母の分数の減法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$7/5-4/5$のような、同分母の減法の計算のしかたを考える。 	
			⑧同分母の帯分数の減法の計算のしかたを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・$2\frac{4}{5}-1\frac{1}{5}$のような、帯分数の減法の計算のしかたを考える。 ・$3\frac{1}{5}-1\frac{2}{5}$のような帯分数の減法で、そのままでは真分数部分がひけない場合の計算のしかたを考える。 	
1 (0)	1 2 2	学んだことを使おう*	⑨時間を分数を用いて表し、大きさの等しい分数について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・「時間を分数で表そう！」という目的意識から、時計の文字盤を見て、1分間が$1/60$時間であることを知り、30分間を分数で表すしかたを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の「はってん」抜きの学習活動として選択的に取り組み、ノート等にまとめる。
1 (0)	1 2 3 4	まとめ	⑩学習内容の理解を確認し、確実に身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。

■ 部屋分けパズル

3月上旬（1時間）

p.125

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
1	1 2 5		①1つの数をほかの数の積とみることや面積についての理解を深め、筋道を立てて考える力を伸ばす。	<ul style="list-style-type: none"> ・指定された面積に部屋を区切るパズルに取り組む。 	

● 算数を使って考えよう

3月中旬（2時間）
p.126～129

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2	1 2 2 6 9 5	(3R スリーアー ル)★ (教室の面積)	①②知識・技能等を活用し、課題解決のための構想を立て、筋道を立てて考えたり、数学的に表現したりすることができる。	・リサイクルに関するアンケート結果をまとめた表をもとに、データをよみ取ったり、棒グラフに表したりする。また、市のごみの量と人口に関するグラフを見て、リポーターの話が正しいかどうかを判断し、理由を説明する。	
				・教室についてわかっている情報を活用して、教室の面積の求め方を考え、説明する。	

★まなびリンク 資料「3Rまなびあいブック(環境省)」

◎ 4年のまとめ

3月中旬（2時間⇒0時間+[以外]）
p.130～134

時	頁	小単元・小見出し	目標	学習活動	[以外]の学習活動例や指導上の留意事項
2 (0)	1 3 3 0 4 5		①②第4学年の学習内容の問題を解決することができる。	・数と計算、図形、変化と関係、データの活用についての問題に取り組む。	・[以外]の学習活動として取り組む。 ・わからない問題があれば個別に支援する。